

平成24年度病害虫発生予報第10号

長崎県病害虫防除所長

向こう1か月間における主な病害虫の発生動向は次のように予想されます。

農作物名	病害虫名	発 生 程 度	
		現 況	予 想
きゅうり	べと病	並	並
	うどんこ病	やや多	やや多
	褐斑病	少	少
	菌核病	やや少	やや少
	灰色かび病	並	並
	ミナミキイロアザミウマ	やや多	やや多
	コナジラミ類	やや少	やや少
トマト	黄化葉巻病	やや少	やや少
	灰色かび病	並	並
	コナジラミ類	やや少	やや少
たまねぎ	白色疫病	並	並
	ネギアザミウマ	やや少	やや少
いちご (本圃)	うどんこ病	並	並
	灰色かび病	並	並
	アブラムシ類	並	並
	ハダニ類	並	並
ブロッコリー	黒腐病	やや少	やや少
	べと病	並	並
	コナガ	やや少	やや少

【発生予報】 本文の()内は平年値

きゅうり

1. べと病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

1月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発病葉率は2.3%(2.2%)、発生圃場率は25.0%(31.2%)であった。

2. うどんこ病

(1) 予報内容

発生程度 やや多

(2) 予報の根拠

1月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発病葉率は6.0%(3.4%)、発生圃場率は50.0%(40.0%)であった。

(3) 防除上注意すべき事項

- ア 病勢が進行すると防除困難となるため、早期発見・早期防除に努める。
- イ 薬剤耐性菌を生じる恐れがあるので、異なる系統の薬剤をローテーション散布する。

3. 褐斑病

(1) 予報内容

発生程度 少

(2) 予報の根拠

1月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発生を認めなかった(発病葉率2.0%、発生圃場率34.8%)。

4. 菌核病

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

1月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発生を認めなかった(発病果率0.0%、発生圃場率3.1%)。

5. 灰色かび病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

1月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発生を認めなかった(発病果率0.0%、発生圃場率0.0%)。

6. ミナミキイロアザミウマ

(1) 予報内容

発生程度 やや多

(2) 予報の根拠

1月上旬の巡回調査(12筆)の結果、寄生葉率は1.2%(0.2%)、発生圃場率は25.0%(12.2%)であった。

(3) 防除上注意すべき事項

- ア 本虫は黄化えそ病を媒介するので、防除を徹底する。
- イ 薬剤抵抗性発達防止のため、同一系統の薬剤を連用せず、ローテーション散布を行う。

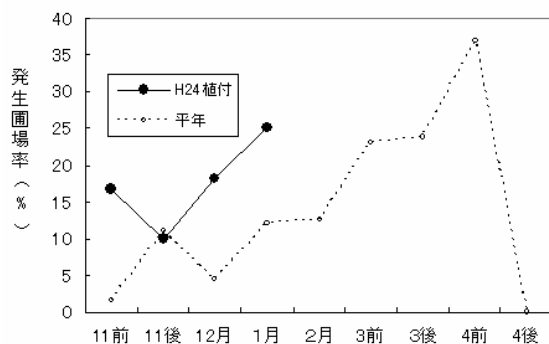


図 ミナミキイロアザミウマ発生圃場率の推移(巡回調査)

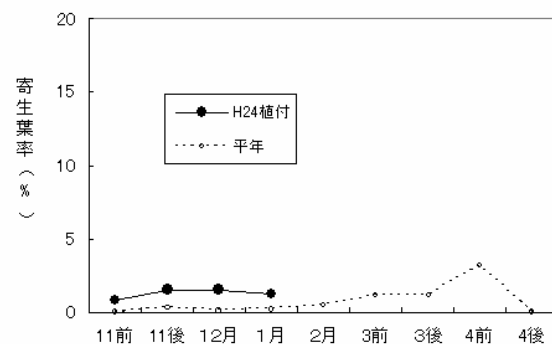


図 ミナミキイロアザミウマ寄生率の推移(巡回調査)

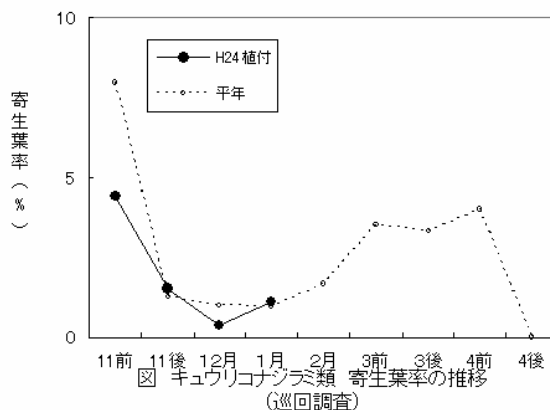
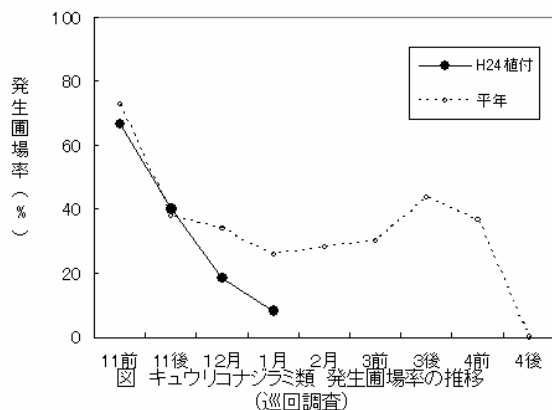
7. コナジラミ類

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

1月上旬の巡回調査（12筆）の結果、寄生葉率は1.1%（0.9%）、発生圃場率は8.3%（25.8%）であった。



トマト

1. 黄化葉巻病

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

1月上旬の巡回調査（12筆）の結果、一部多発圃場が認められ、発病株率は0.6%（過去8ヵ年平均0.4%）であったが、発生圃場率は16.7%（同24.0%）であった。

2. 灰色かび病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

1月上旬の巡回調査（12筆）の結果、発生を認めなかった（発病果率0.0%、発生圃場率1.0%）。

3. コナジラミ類

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

1月上旬の巡回調査（12筆）の結果、寄生葉率は0.0%（寄生株率0.7%）、発生圃場率は8.3%（21.9%）であった。

たまねぎ

1. 白色疫病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

1月上旬の巡回調査（15筆）の結果、発生を認めなかった（発病株率0.0%、発生圃場率0.8%）。

2. ネギアザミウマ

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

1月上旬の巡回調査(15筆)の結果、寄生株率は2.4%(10.4%)、発生圃場率は20.0%(51.1%)であった。

いちご

1. うどんこ病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

1月上旬の巡回調査(27筆)の結果、葉での発生は認めなかった(発病株率0.3%、発生圃場率8.4%)。発病果率は0.0%(0.0%)、発生圃場率は3.7%(4.6%)であった。

2. 灰色かび病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

1月上旬の巡回調査(27筆)の結果、発病果率は0.0%(0.0%)、発生圃場率は11.1%(4.2%)であった。

3. アブラムシ類

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

1月上旬の巡回調査(27筆)の結果、一部多発圃場が見られ、寄生株率は3.0%(0.8%)で、発生圃場率は11.1%(10.4%)であった。

4. ハダニ類

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

1月上旬の巡回調査(27筆)の結果、寄生株率は3.7%(4.2%)、発生圃場率は33.3%(37.9%)であった。

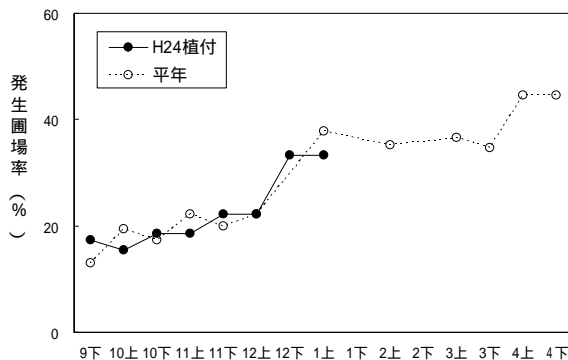


図 いちご ハダニ類 発生圃場率の推移
平年: H14~H23の平均値(最大・小値除く)

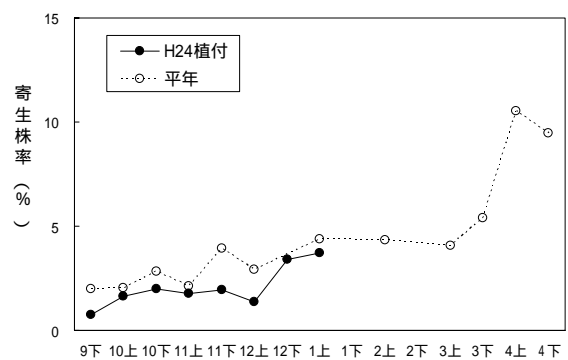


図 いちご ハダニ類 寄生株率の推移
平年: H14~H23の平均値(最大・小値除く)

ブロッコリー

1. 黒腐病

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

1月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発生を認めなかった(過去5ヵ年平均発病株率0.8%、発生圃場率5.7%)。

2. べと病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

1月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発生を認めなかった(過去5ヵ年平均発病株率0.7%、発生圃場率1.7%)。

3. コナガ

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

1月上旬の巡回調査(12筆)の結果、寄生株率は0.3%(過去5ヵ年平均2.5%)、発生圃場率は8.3%(同17.0%)であった。

病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「防除所ホームページ」 アドレス：<http://www.jppn.ne.jp/nagasaki/>

この情報に関するお問い合わせ

長崎県病害虫防除所 TEL：0957-26-0027